



Vol.

205

2025新年号

キョウト シール ツウシン

Kyoto SeeL通信



新年のご挨拶

公益財団法人京都府生活衛生営業指導センター 代表理事 **山岡景一郎**

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、ご健勝で輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、平素から生活衛生営業指導センターの業務運営につきましては、格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、元日に石川県能登半島を震源とする最大震度7の地震が発生し、津波による被害など、石川県を始めとする能登半島に甚大な被害をもたらしました。更に9月には記録的な大雨による河川の氾濫や土砂崩れが相次ぐなど、地震により被災し、生活再建を目指す中で被害を受ける「二重被災」ともいわれる厳しい状況に直面する人々をどのように支援していくのかという課題に私たちは直面しました。被災者の皆様に改めてお見舞いを申し上げますとともに、今年はこのような災害が無いよう、心より祈るばかりです。

また、外国為替市場では7月に160円台の歴史的な水準を記録する円安が続くとともに、ロシアによるウクライナ侵攻や自然災害などの影響を受けた原油・原材料高や物価高騰の波は収まる気配は無く、更には人手不足や最低賃金の過去最大の引き上げを背景として人件費が高騰しております。

そうした中、本年は団塊の世代が75歳を迎え、高齢者人口が約3500万人に達することにより、雇用、医療、福祉など様々な分野に影響が及ぶ「2025年問題」が始まるとされており、高齢化人口の増加に加え、少子化の進行により労働人口そのものが減少を迎え、日本社会全体に大きな影響を及ぼすこととなります。

このような課題があるものの、私どもは、日常生活に欠かせない、府民・市民の皆様々に密着した生活衛生営業を生業(なりわい)としていることから、経費が増加したからと言って、それをそのまま、すぐに価格転嫁することができない厳しい経営環境があります。さらには、後継者難、従業員の確保難など、解決していかなければならない根本的な課題を抱えている現実があります。

このように、生活衛生営業を取り巻く環境は、従前にも増して厳しいところではありますが、当指導センターにおきましても、生衛業が更に発展していくよう、関係者の皆様と共に考え頑張りたいと思っております。

結びに、今年一年が平和で安心して暮らせる年となること、そして、皆様のご健勝とご多幸、ご家業の繁栄を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



謹んで新春の

お慶びを申し上げます

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----|--------|-------|-------|-------|-----|----|-------|-----|--------|------|----|----|-----|------|-----|------|-------|--------|------|--------|-------|
| 評議員 | 評議員 | 評議員 | 評議員 | 監事 | 監事 | 理事 | 理事 | 理事 | 理事 | 理事 | 理事 | 理事 | 理事 | 理事 | 理事 | 理事 | 常務理事 | 専務理事 | 副理事長 | 副理事長 | (代表理事) | |
| 小野 | 原口 | 早藤 | 堀部 | 岩尾 | 中村 | 佐々木 | 根津 | 磯橋 | 粟津 | 田崎 | 上野 | 木村 | 園部 | 牧野 | 浅沼 | 大原 | 小林 | 中井 | 高宮 | 中西 | 三嶋 | 山岡景一郎 |
| 善三 | 潔治 | 博文 | 勝也 | 孝太郎 | 貞正 | 木邦泰 | 英和 | 輝彦 | 暢彦 | 保男 | 博史 | 昌彦 | 平八 | 順二 | 健夫 | 隆 | 哲 | 義昭 | 正博 | 三郎 | 吉晴 | 山岡景一郎 |
| 旅館ホテル | 美容業 | クリーニング | 麺類飲食業 | 麺類飲食業 | 旅館ホテル | 寿司 | 理容 | 旅館ホテル | 美容業 | クリーニング | 中華料理 | 食肉 | 料理 | 飲食業 | 喫茶飲食 | 京都市 | 京都府 | 公衆浴場業 | 指導センター | 興行 | 麺類飲食業 | 社交料飲 |



京都からいのち輝く未来を 切り拓く

京都府知事 **西脇 隆俊**

明けましておめでとうございます。府民の皆さまにおかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、元日に能登半島地震が発生し、8月には初めて南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が発表されました。改めて「危機管理」がいかに行政における根幹的な役割であるか、ということを感じた一年であり、新しく整備した常設の危機管理センターを拠点として、全ての営みの土台となる府民の皆さまの安心・安全の確保に全力で取り組んでまいります。

一方で、昨年は府立植物園や京都丹後鉄道・宮津線が100周年を迎えるとともに、国内最大規模の国際スタートアップカンファレンス「IVS」を2年連続で京都で盛大に開催し、次の100年に向けて多様な価値を生み出していく新たな一歩となった一年でもありました。

「万巻の書を読み、万里の道を往く」。これは「最後の文人画家」と称された富岡鉄斎の座右の

銘です。書物を読み各地を巡って多くの事象に触れることを実践した彼は、その経験の中から多様な価値を見出しました。都として交流の中心地であった京都には、鉄斎のような人々や文物が行き交い、そうした交流の中から人々の心の発露が文化という価値となって、京都から各地へもたらされました。新しい価値は絶え間のない交流から生まれます。文化庁とも手を携えつつ府内各地の多彩な文化の掘り起こしや磨き上げを行い、京都が守ってきた「人のつながり」を大切に、誰もが未来に夢や希望を持てる「あたたかい京都づくり」をさらに進めてまいります。

さあ、いよいよ大阪・関西万博が開幕します。日本における最初の博覧会が1871年にここ京都で開かれて以来一世紀半。今も昔もイノベーションが京都で生まれ続けているのは、技術の進歩を人々の幸せに結び付ける文化と心根が京都に息づいているからにほかなりません。今こそ私たちが大切に受け継いできた「継承」と「創造」の精神で新しい価値を生み出し、世界の人々を府内各地へいざない、大きな交流をつくり出すことで、京都からいのち輝く未来を切り拓きたいと考えております。

今年、再生と変化を象徴する巳年。時流を柔軟に捉え、努力を重ねながら、皆さまと共に進んでまいり所存です。今年一年の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。



～京都のまちを未来に繋ぐ～

京都市長 **松井 孝治**

あけまして、おめでとうございます。新たな年の始まりに、皆様の御多幸をお祈りいたします。

市長就任から、間もなく1年が経とうとしています。この間、「市民対話会議」を開催し、様々な立場の皆様と直接、対話するとともに、時間の許す限り京都のまちを歩き、京都に暮らし、働く方々との出会いを通じて、まちのあり様を私なりに見つめ直してきました。

京都の特性とも言える「まち柄」を確認する中で見えてきたのは、京都の課題と大きな可能性です。

地域コミュニティや文化、伝統など、京都を支えてくださっている担い手の減少や、就職期や結婚・子育て期の方々の市外流出、一部の観光地での混雑やマナーなどの観光課題、更にはオフィス空間の不足等といったまちの課題を改めて認識しました。

一方で、京都が受け継ぐ文化や価値観を魅力に感じ、多彩な人々が訪れていることや、発展に向けたポテンシャルのあるエリアの存在、そして、まちづくりの現場で活躍する大学生などの若者の

姿などに大きな可能性を感じています。京都で育まれてきた自治の伝統と心意気を生かし、まちを次代に繋いでいくためには、人と人との垣根を低くし、多彩な担い手を結び付けていくことが必要です。

昨年は、京都市の喫緊の課題である人口流出を抑制するため、若者・子育て世帯の定住を促進する「京都安心すまい応援金」を創設するとともに、観光混雑対策として全国初の「観光特急バス」の運行開始など、これからのまちづくりの芽出しとなる事業を展開しました。

更には、京都の「まち柄」など本質的な価値や強みを継承・発展し、令和9年度までに取り組む政策等をまとめた「新京都戦略（骨子）」をお示ししたところです。

今年の干支は乙巳（きのとみ）です。努力を重ねながら物事を安定させていく意味が込められています。これまでの取組の芽吹きを大きく育てていくため、令和7年度は、新京都戦略に基づき、多彩な人々が集い、誰もが個性を生かして活躍できる、すべての人々に「居場所」と「出番」のある社会の実現に全力で取り組んでまいります。

現在、京都市のまちの未来像となる「長期ビジョン」の策定に向けた取組も進めています。これからの時代を担う若者はもちろんのこと、京都で働き、学び、憩う多様な市民の皆様へ「自分ごと」として京都の未来を考えていただき、多くの声をつないで未来を構想してまいりますので、是非、皆様の思いをお聞かせください。



栄えある受章・受賞おめでとうございます

令和6年11月21日、京都ガーデンパレスにおいて、生活衛生功労者表彰式を開催しました。永年にわたり生活衛生の普及向上推進のため、衛生水準の維持向上及び業界の育成指導に尽力された功績が認められ、次の方々为荣えある受章・受賞をされました。

令和6年度生活衛生功労表彰者 (敬称略)

旭日双光章

京都府理容生活衛生同業組合 前理事長
西堀 慎介

厚生労働大臣表彰

飲食業 石谷 彰男 | 飲食業 横山 由数

中央会理事長表彰

理容 岩崎 光哲* | 喫茶飲食 前田 剛*
旅館ホテル 堀部 吉憲 | 料理 左 敏泰
食鳥内販売業 上田喜一朗
*中央推薦

知事表彰

理容 岩崎 光哲 | 寿司 柳澤 伸夫
旅館ホテル 井上 義一 | 中華料理 杉山 公和
食肉 田中 正史 | 料理 寺田 紳一
美容業 山口 真澄 | 飲食業 恒川 浩史
麺類飲食業 岩尾孝太郎

協議会会長表彰

旅館ホテル 幾世 英磨 | 料理 小西 将清
美容業 向井 章司 | 飲食業 井上 健
美容業 山本 哲夫

指導センター事業開催報告

指導センター理事会・協議会理事会 令和6年 6月 4日
指導センター一定時評議員会・臨時理事会 令和6年 7月 4日

センター理事会では ①令和5年度事業報告（案）に関する件 ②令和5年度決算書（案）に関する件 ③評議員会の招集及び議案に関する件について、協議会理事会では ①令和5年度事業報告、収支決算報告及び監査報告並びに剰余金処分（案）に関する件について審議が行われ、原案どおり承認されました。

センター一定時評議員会では ①令和5年度事業報告及び決算承認に関する件 ②令和6年度事業計画及び収支予算に関する件 ③役員 の辞任に伴う後任役員選任に関する件について、センター臨時理事会では、①副理事長、専務理事及び常務理事を定める件について審議が行われ、原案どおり承認されました。

経営特別相談員研修会
生活衛生改善融資推薦団体連絡協議会 令和6年 7月 4日

経営特別相談員研修会

「機嫌のいい男はこの世の宝」

講師 エッセイスト 日本ペンクラブ会員 浜田 幹子 氏

講師の夫であり、有名社寺などで数々の障壁画を手掛けられ「平成のふすま絵師」と称される日本画家 浜田泰介氏 との日常を考察し、「機嫌がいい」という状態は、感情のコントロールではなく、作法として身につけておくことが大切であり、ビジネスで結果をだしていくための「機嫌のセルフマネジメント法」について、エッセイストならではのユーモアある視点でお話をいただきました。

推薦団体連絡協議会

日本政策金融公庫より ①日本政策金融公庫の概要と生活衛生改善貸付の推薦事務 ②生活衛生関係営業経営改善資金特別貸付の限度額拡充に関する留意事項 についての説明があり、生衛組合からは、③理容組合 三宅厚子特相員より、推薦事務を行う上で心がけていることや制度改正・業界動向などのブラッシュアップを図るため、組合特相員と当指導センター 礎経営指導員との定期研修会の開催とその取り組みによる効果についての発表が行われ、今後の経営支援に向けた具体的な連携方法への理解と認識を深めました。

活動推進会議及び衛生水準の確保・向上推進会議
生活衛生同業組合事務局連絡会議 令和6年 9月26日

各生衛組合事務局・京都府・京都市・日本政策金融公庫が出席し、今年度の ①「生活衛生同業組合活動推進月間」及び「衛生水準の確保・向上事業」について ②「新規営業許可店舗名簿」の提供 ③ 広報資料の配布 ④「行動計画」及び「実施報告書」の作成 ⑤ 組合運営の現状と課題、組合員加入勧奨と組合活性化に向けた取り組みなどの意見交換を行いました。

各生衛組合事務局との連絡会議では、京都SeeLフェアの開催や京都府振興事業及び京都市研修等共催事業等についての説明、行事日程等の確認を行い、今後の更なる連携強化を図りました。



第44回京都SeeLフェア（府民交流フェスタ） 令和6年11月 3日

府民交流フェスタ（京都府立植物園）内において、『京都SeeLフェア』を開催し、生活衛生同業組合による〈せいえいお楽しみ福袋〉の販売と当指導センターによる生活衛生業の広報・啓発活動を行いました。

前日までの雨模様から一転、秋晴れに恵まれ、約10,000人のご来場がありました。今年は生活衛生同業組合の参加ブースが増え、工夫を凝らした福袋によりお客さまとの交流が深まり、生活衛生業に一層の関心を持っていただく機会となりました。



生活衛生営業経営研修会 令和6年11月21日

「上賀茂神社の魅力」

講師 賀茂別雷神社 第205代 宮司 高井 俊光 氏

京都最古の歴史を有する一社であり、平成6年に世界文化遺産に登録されている賀茂別雷神社（上賀茂神社）の魅力について、普段聞くことのできない貴重なお話をいただきました。今年のNHK大河ドラマ『光る君へ』の紫式部ゆかりの地でもあり、国内外を問わず多くの方が参拝される中で、お祭り事や境内の模様をそのままの形で後世に残していく使命と共に時代に即した在り方で伝えていくことは、生衛業にも深く通じるものがあり大変興味深いお話でした。



後継者育成支援事業出前授業

クリーニング組合：京都市立加茂川中学校 令和6年 6月17日

ドライクリーニングの実験などを交えながら、クリーニングの仕事内容とやりがいについて講義をされ、クリーニング師の仕事に対して高い関心を持っていただく機会となりました。

美容業組合：京都市立洛風中学校 令和6年12月 3日

仕事内容の説明とヘアスタイリングの実演・解説が行われた後、パーマや三つ編み、カール・ブローを実際に体験いただき、美容師の職業への魅力が深まっていく様子が印象的でした。

寿司組合：国際交流イベント 令和6年11月18日

京都テルサ、京都府国際センターと主催し、寿司職人による日本の伝統食「巻き寿司」作りの体験を楽しむ国際交流イベントを開催しました。講師による実演の後、参加者は通訳を介しながら講師の手ほどきを受け、見事な巻き寿司を完成させていました。



クリーニング業務従事者講習 令和6年10月17日 クリーニング師研修 令和6年12月 1日

クリーニング師・業務従事者がそれぞれに求められる役割を再認識するために必要な法規や衛生意識のアップデートの他、「クリーニング所における衛生管理要領」「労働安全衛生法施行令等」「JIS L0001取扱表示」の一部改正に係る留意点について各講師に解説をいただきました。また、事故回避力を高めていただくための問題事例を多数取り上げました。



生衛業経営セミナーのご案内

長引く物価高騰などにより、多くの小規模事業者の経営環境が依然厳しい状況にある中で、収益力の向上を実現するための方策を考え、実行していくためのセミナーを開催します。ぜひご参加ください。

開催日 2025年2月3日(月) 13:30~16:00

会場 京都ガーデンパレス 2階 葵

京都市上京区烏丸通下長者町上ル龍前町605 TEL:075-411-0111

定員 100名 **参加費 無料**

※右の2次元コードの専用フォームよりお申込みください。
申込締切日：2025年1月27日(月)

詳細
お申込みフォーム



講師

■ 京都洛中の日本酒、伝統技術の継承と革新

佐々木酒造株式会社

代表取締役 佐々木 晃 氏



■ 物価高騰にも負けない 生活衛生業を取り戻す

(公財) 全国生活衛生営業指導センター

専務理事 伊東 明彦 氏



●お問合せ・お申込み | 京都府生活衛生営業指導センター TEL 075-661-6661 FAX 075-661-6662

訃報

当指導センター常務理事 河原 昭雄 様(京都府食鳥肉販売業生活衛生同業組合 理事長)が、令和6年10月8日、ご逝去されました。深く哀悼の意を表すると共に、心からご冥福をお祈り申し上げます。

Sマークは、確かな技術と共にお客さまへ「安全・安心」をお約束する目印です。



<標準営業約款登録日>

令和7年2月1日



Kyoto SeeL通信

Vol.205 2025新年号

編集・発行人

山岡景一郎

公益財団法人
京都府生活衛生営業指導センター

京都市南区東九条下殿田町70
京都テルサ 東館1階
TEL 075-661-6661
<https://www.kyoto-seel.com>

Homepage

Facebook

